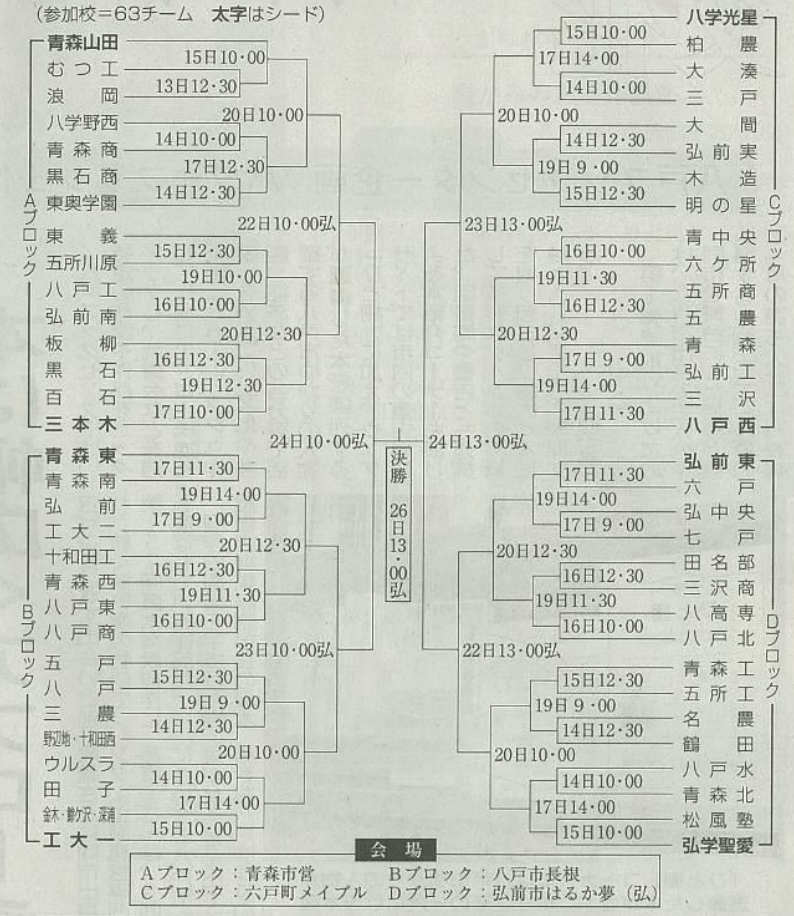


全国高校野球青森大会組み合わせ



63チーム甲子園目指し 来月13日開幕

7月13日に開幕する第63回全国高校野球選手権青森大会の組み合わせ抽選会が21日、青森市の県総合社会教育センターで行われた。出場63チームが甲子園出場を懸け、しごきを削る。春季県大会3位で東北大会準Vの八学光星は柏農と初戦。秋季、春季に続く3大会連続優勝を狙う青森山田は開幕試合のみつ工一浪岡の勝者を迎え撃つ。春季県大会4強の工大一は金木・鯉ヶ沢・木造深浦と対戦する。

Aブロックは、第1シードの青森山田のみ2回戦から登場。シード校の三本木のほか、弘前、五所川原両地区を中心とした精鋭が挑む構図。県南勢では三本木と百石が初戦でぶつかる。春季県大会に出場した八戸工は弘前南と、八学野西は青森商と戦う。

Bブロックは、八戸東一八戸商、五戸一八戸、ウルスラ一田子など同地区対決が集中した。野辺地と和田西は合同チームで出場し、同地区の三農とぶつかる。工大一は弘前、十和田

Cブロックは、八戸西、青森、弘前東、三沢など実力校がそろった。昨夏準Vの大湊は三戸と、大間は弘前東とぶつかる。六ヶ所は前中央と対戦する。強豪・八戸西は古豪・三沢との初戦を迎える。

Dブロックは、春季県大会準優勝の弘学聖愛とシード校の弘前東が軸。一昨年に夏の甲子園出場を果たした三沢商は田名部と、八高専は八戸北と戦う。六戸は弘前東、七戸が弘中央、名農が鶴田、八戸水が青森北との初戦に挑む。

3回戦までは、Aブロックが青森市営、Bブロックが八戸市長根、Cブロックが六戸町メイプル、Dブロックが弘前市はるか夢で行われる。準々決勝以降は、はるか夢が会場となる。順調に進めば、決勝は26日開会式は15日午前10時半から青森市営で。選手宣誓は抽選の結果、五所川原の小田桐圭吾主将が決まった。

(金湊千優希、庄子鉄平)
頂上目指す強豪2校
 ○…3年連続で夏の甲子園出場を目指す光星。青森第3代表で出場した春季東北大会で準優勝という好成績を残したが、吉田大樹主